

太陽の家の都築美幸です。このたびは会議を欠席することになり、悪いなあと思っています。ごめんなさい。新幹線に乗って会議に出席することや帰りに東京駅で友だちにお土産を買うことをとても楽しみにしていましたので、残念です。ただ、会議で話すことは少し不安もありました。

前の会議のときに、スマホを買うことやヘルパーさんに来てもらうことについて、話しました。蒲郡にもどって澤田さん（相談支援専門員）と相談しました。

スマホのことはやはりお金がないから、ガラケーをしばらく使うことにしました。

ヘルパーさんは食事とか掃除とか手伝ってもらうので、来てほしいと思っていましたが、寮を出たい、太陽の家を辞めたいという気持ちが強くなったので、ヘルパーさんに来てもらうことは少し考えようと思います。

日曜日（7日）の夜からすごく不安で、寮（福祉ホーム）にいるのがとてもイヤになってしまい、夜遅かったけど、鈴木さんに電話しました。お願いして、支援センターに泊めてもらおうと思いました。最初はダメと言われましたが、お願いしたら迎えに来てくれました。すぐに支援センターに行くと思ったら、駐車場で少し話をして、どうしても私が泊めてほしいと言ったら、いいと言ってくれました。

支援センターに行きましたが、眠ることもできず、結局、3時30分ごろ「帰る」と言って送ってもらいました。鈴木さんには迷惑をかけたと思います。

実は薬を毎日飲まなければならなかったのですが、飲みませんでした。自分の病気のことを軽くみていたので、飲まなくても大丈夫だと思い、飲みませんでした。タダそのこととは別に、就労継続支援B型事業所も寮もイヤになってしまったので、辞めたいと思っています。

9日（火曜日）の午後から決められたとおり飲んでいますが、きょう（10日）の昼頃、ゼンゼンよくならないで、不安ばかりでしたので、病院に連れて行ってもらいました。

不安なときは、「センター長も澤田さんも何もしてくれない。がんばれがんばればかり言う」「いつになったら今の会社（就労継続支援B型事業）を辞めさせてくれるのか、辞めさせてくれないじゃないか」「自分のお金だから自由に使ってもいいじゃないか」「自分は何もできないからちゃんとあっている作業所に行かせてほしい。給料が安くてもいい」といろいろと頭に浮かんで、怒れてきてしまいました。「きれそう」にもなりました。

でも、病院に連れて行ってもらったり、薬のことをみてもらったり、電話で不安を言えば聞いてくれたり、寮まで来てくれたり、支援センターに泊まらせてくれたりしたので、とりあえず相談員がいてくれてよかったと思います。

ただ、また調子が悪くなると鈴木センター長さんや澤田さんにキレルかも知れないので、心配です。

今回会議をお休みしてすみませんでした。玉木さんごめんなさい。会議に参加してくれたみなさんにもごめんさいを言いたいです。